



エチオピア

企業訪問調査レポート【3】

FANA Beauty Salon (FANA)

～BOP層向け美容院～

■ エチオピア連邦民主共和国 — 基礎データ —

- 面積：109.7万平方キロメートル〔日本の約3倍〕
- 人口：約9,173万人（2013年：世銀） 人口増加率：2.61%（2013年：世銀）
- 首都：アディスアベバ
- GNI：374億ドル（2013年：世銀）／1人当たりGNI：410ドル（2012年：世銀）
- 経済〔GDP〕成長率：8.5%（2012年：世銀）

出所：外務省ホームページ エチオピア連邦民主共和国「基礎データ」（2014年9月1日）



■ 調査日：2014年 10月22日

■ 分野：サービス業（美容）

■ 特徴：FANAは小さな店舗から営業をはじめ、顧客を着実に増やしながらか2015年現在はアディスアベバ市内に2店舗を展開しており、今後の成長が期待される企業である。

FANAは、所得層別の美容院に当てはめると小規模・低所得層向けと中規模・中間所得層向けの美容院の中間に位置するような特徴を持つ。低所得層のエチオピア人女性でも通える料金設定が魅力でありつつも、スタイリッシュな店構えと質の良いサービスを提供していることから、幅広い層に人気を集めている。また積極的にBOP層の女性を雇用する姿勢と、従業員の懸命に働く姿は、利用者にも好感を与えている。

企業概要

- 社名：FANA Beauty Salone (FANA)
（ファナ・ビューティー・サロン）
- 住所：Addis Ababa, Kirkos, 08, House No 456
- 拠点：アディスアベバ（計2店舗）
- 設立年：2003年
- 従業員数：〔カザンチス地区店（1号店）〕9人 〔ボレ店（2号店）〕20人
- サービス内容：〔美容サービス〕洗髪、ブロー、セット、マニキュア、
マッサージなど



店舗外観

〔物品販売その他〕美容製品の販売、施術後の写真撮影

- 設立経緯：「FANA」という店名は、創業者のファナイ・アジェレ (Fanaye Ajere) 氏に由来する。ファナイ氏は貧しい家庭で育ったが、複数の仕事を掛け持ちしながら、2003年にFANAを開業した女性起業家。当初は、自宅スペースを利用して細々と経営を行い、開業時の収入は1ヵ月で150ブル（約1,978円）*程度しかなかった。ファナイ氏の独創性豊かな人柄と、持ち前のアーティストとしての美的感覚が評判になり、徐々に規模を拡大し、2004年には自宅のあるカザンチス地区で1号店をオープンした。その5年後の2009年には、エチオピア最大の大通りでもあるボレ・アフリカ道路沿いに2号店をオープンするまでに成長した。

*：1ブル≒ 13.19円（2003年平均）



創業者の
ファナイ・アジェレ氏

エチオピアにおける美容事情

エチオピアはアフリカの中でも美人の多い国として知られており、エチオピア女性の美への意識は一般的に高いといえる。低所得層であっても女性の大多数が一週間に一度の頻度で美容院に通い、洗髪、ブロー、セットなどのサービスを利用している。

エチオピアには部族毎に独特な編み込みスタイル「ショルバ」があり、加えて現代風のいわゆる流行スタイルも多数存在するため、首都アディスアベバを含む都市部では様々なスタイルの「ショルバ」の女性が見られる。また最近では、エクステンション(付け毛)、染髪など、様々なヘアスタイルを楽しむ女性が多い。

首都アディスアベバや都市部等、様々な所得層の住民が混在している地域では、それぞれの所得レベルに見合った美容院・美容サービスが存在しており、選択肢も豊富である。道端に椅子一つ置いて営業するような美容サービスから、スパ複合型の高級美容院まで、幅広い価格帯のサービスが提供されている。これらの美容院・美容サービスを規模、利用者の所得別に3つに分類すると以下のように整理できる。

※1ブル≒5.34円(2014年10月平均)

小規模・低所得層向け美容サービス

- 場所 : 街の至る所に多数存在し、3メートル四方ほどの限られたスペースであることが多い。
- 主なサービス : 洗髪、ブロー、セット(35~40ブル[約186~213円]程度)
- その他のサービス : マニキュア、アイブロー(眉毛)、メイクアップ
- 主な顧客層 : 月収3,000ブル[約16,020円]以下の層
- 特徴 : 顧客もサービス提供者も、サービスの質より価格を重視する傾向にある。



低所得層向けの比較的小規模な美容院。

中規模・中間所得層向けの美容サービス

- 場所 : 商業ビルの1部屋などで営業している。
- 主なサービス : 洗髪、ブロー、セット(65ブル[約347円]程度)
- その他のサービス : マニキュア、アイブロー(眉毛)、メイクアップ、マッサージ、美容製品の販売(マニキュア、アクセサリ、下着など)
- 主な顧客層 : 月収3,000ブル[約16,020円]以上の層
- 特徴 : 低所得層も利用可能な美容院で使用されているものより、やや質の良い製品を用いており、品質へのこだわりも一部見受けられる。



ポリウムゾーン・中間所得層向けの美容院。商業ビルの1階にテナントとして入っている。

大規模・高所得層向けの美容サービス

- 場所 : 自社ビルもしくは賃貸ビルのメイン店舗などとして営業している。
- 主なサービス : 洗髪、ブロー、セット(99ブル[約528円]程度)
- その他のサービス : カット(170ブル[約907円]程度)、ヘアカラー(510ブル[約2,723円]程度)、マニキュア、アイブロー(眉毛)、メイクアップ、マッサージ各種(オイル、アロマ、ストーンなど)、モロッコ式バス、ジャグジー、サウナ、シャワー
- 主な顧客層 : 外国人、富裕層
- 特徴 : 主に海外ブランドの製品を使用し、無料でお茶・水を提供するなど、サービスの質を重視している。



上流階級向け美容院・スパは、ビルの中心的存在。地上階のフロア全体が店舗となっている。

JETRO

美容院 FANA の商品・サービス (詳細)

ヘア・サロン

- 洗髪、ブロー、セット
- 染髪
(仕入れ先:エチオピア・マルカート市場)
- エクステンション
(仕入れ先:エチオピア・マルカート市場)
- ショルバ(編み込み)



FANA店舗2階部分



ポスター

ネイル

- ハンドケア
- マニキュア・ペディキュア
- ジェル・アクリル

スパ

- マッサージ
- モロッコ式バス(スチームサウナ+垢すり)、スチームサウナ
- シャワー



マッサージ室



モロッコ式バスの設備

美容製品の販売

- マニキュア
- アクセサリー
- 下着
- その他美容関連グッズ

写真撮影

- 貸衣装
- ヘア&メイクの後、貸衣装の着付けをした上で写真撮影



ショップコーナーではコーヒーセレモニーが行われ、和やかな雰囲気



撮影写真サービスのアルバムサンプル



従業員がモデルとなり写真撮影サービスのサンプルを展示

ビジネスの概要 ②

貧困女性を積極的に雇用・起用

FANAの従業員の90%は女性で、その多くが扶養家族を持つシングルマザーといった経済的に貧しい立場にある。当企業のオーナー社長であるファナイ氏は、自身の体験から、女性が家族を養っていくことの大変さを身をもって理解していることから、積極的にこのような女性を起用し、育ててきた。ファナイ氏のモットーは、少しでも多くの女性が自立し、家族のためだけではなく、自分自身の幸福のためにやりがいある仕事を営み、充実した人生を送ることができるようサポートし社会に貢献することであり、この姿勢が当企業の経営方針にも表れている。

成功の秘訣（会社経営において工夫している点）

- ① 絶えず新しいアイデアを創出し、店内外のディスプレイ写真も常に最新のスタイルを提供・紹介するように心がけている。
- ② はじめにどのような髪型、メイクがお客様に合うかといった内容のコンサルテーションを行うことで、お客様それぞれに最適のサービスを提供するよう心がけている。
- ③ 中間所得層であっても手の届く価格設定に努めている。
- ④ 家族を支えなければならない環境に置かれている女性や、シングルマザーを積極的に採用することで、利益を追求しつつも企業としての社会的責任を果たすことも心がけている。
- ⑤ 家族の急な病気等といった事情で出勤できない日があっても、従業員ができる限り仕事を続けることができるよう、柔軟な勤務体制を導入している。
- ⑥ 新たに勤務を開始する従業員で、交通費等の負担が困難なケースがあれば積極的に相談にのっている。例えば、交通費のみ事前に支給し、給料が支給された後にその分を返済してもらう等といった対応を取っている。
- ⑦ 店内でエチオピアの伝統的おもてなし方法であるコーヒー・セレモニーやダボ（エチオピアの伝統的スタイルのパン）を提供することにより、利用客がアットホームな雰囲気の中リラックスして利用できるよう配慮している。

経営における問題点

- 家賃が非常に高く、売り上げの大部分（約65%）を費やしている。家賃値上がりの為、最近ではモロッコ式バス専用賃貸契約を結んでいたスペースを断念し、既存のサロンの一角（2階）に移動することとなり、改装中である。

【ボレ店の経営状況】 ※1ブル≒5.34円（2014年10月平均）

費目	収入	支出	
ボレ店の1か月の売り上げ平均	約77,500ブル (約413,850円)		
家賃		50,000ブル (約267,000円)	
従業員の給料: 1人1,500ブル × 10人		15,000ブル (約80,100円)	
その他経費		7,000ブル (約37,380円)	
純利益:			5,500ブル (約29,370円)

- エチオピア全体の問題であるが、未だインフラが十分に整備されていないため、水道等の供給が停止してしまうと、その間は営業ができない。また、電気の供給がない場合は、ジェネレーターを使用するため利益が減少してしまう。
- 最新の美容器具を輸入する際、関税が非常に高いため、容易には購入ができない。

今後の展望

FANAでは、店舗をさらに拡大したいと考えているが、現状では政府の中小企業へのサポートが十分とは言えず、新たに店舗をオープンしたいと考えても、家賃が高いため断念せざるを得ない状況にある。例えば、政府より中小企業奨励の一環として無料、または低価格で商業ビルの貸し出し等といった支援があれば、今後ビジネスをさらに拡大することが可能になると期待される。

経営者のファナイ氏は、将来的には大きな商業ビルにFANAの新店舗をオープンさせ、より多くの恵まれない女性や身寄りのない人々を雇用という形で支援していきたいと考えている。また、貧困層であっても無償またはごくわずかな学費で手に職を持てるよう、将来的には美容学校も開きたいと考えている。



FANA外観



FANA店舗1階部分



JETRO

【免責事項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロおよび執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。